

第14回ETFコンファレンス

資産運用ビジネスにおける新たな機会と価値創造

資産運用業の現状と課題、展望

2022年6月8日

一般社団法人 日本投資顧問業協会

会長 大場 昭義

資産運用業の現状と課題、展望

1. 急成長する資産運用業

- 「資産運用業宣言2020」
資産運用会社の「社会的使命」、「目指すべき姿」

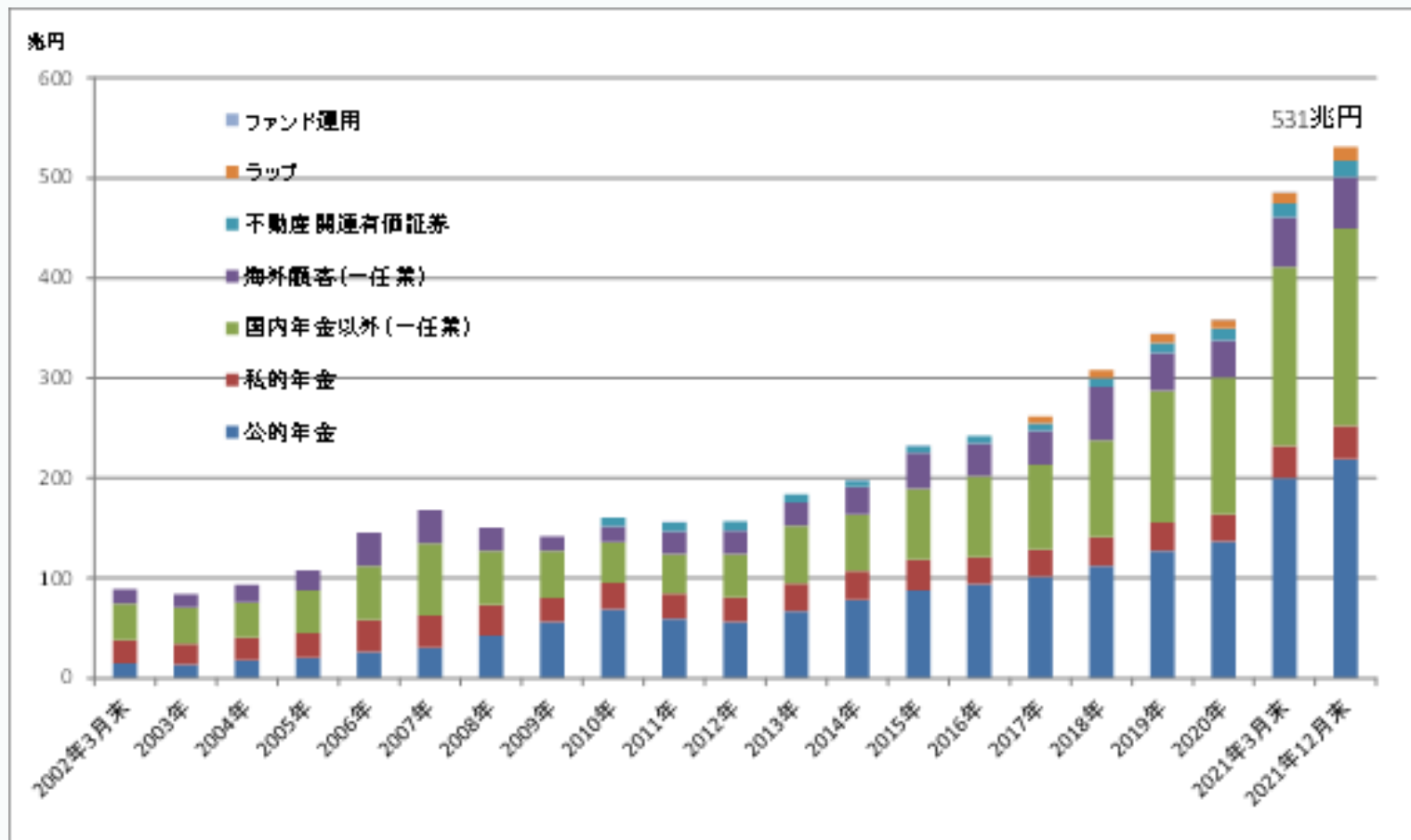
2. 資産運用業の課題

- 我が国金融・資本市場の低迷からの脱却
2つのコード制定・・・目的は上場企業の持続的企業価値の向上
- 資産運用会社のブランド力の向上
・信頼 ・規模 ・歴史 ・人材（厚みと特性）

3. 資産運用業の発展に向けて

- 貿易立国から投資運用立国へ
資産運用会社は中核的存在

資産運用機関の契約資産残高の推移



資産運用業宣言 2020

～ わたしたちは皆さまとともに、資産と社会の未来を創ります ～

“ 投資は未来を創るもの, *Invest for a Brighter Future* ”

【社会的使命】

資産運用会社の使命は、皆さまの安定的な資産形成に向けて最善を尽くすと共に、そのための投資活動を通じて社会課題の解決を図り、皆さまの豊かな暮らしと持続可能な社会の実現に貢献することです。

【目指すべき姿】

《専門性と創造性の追求》

最良の運用成果と付加価値の高いサービスを提供するために、皆さまから大切な資産の運用を託されていることを役職員ひとり一人がしっかりと自覚し、その責任と誇りを持ち、常に高い専門性と多様な創造性を追求します。

《顧客利益の最優先》

皆さまの資産の長期的利益を最優先することは、運用を託される我々資産運用業の拠って立つところであり、その徹底のために様々な取り組みを常に追い求め、皆さまからのご期待にお応えします。

《責任ある投資活動》

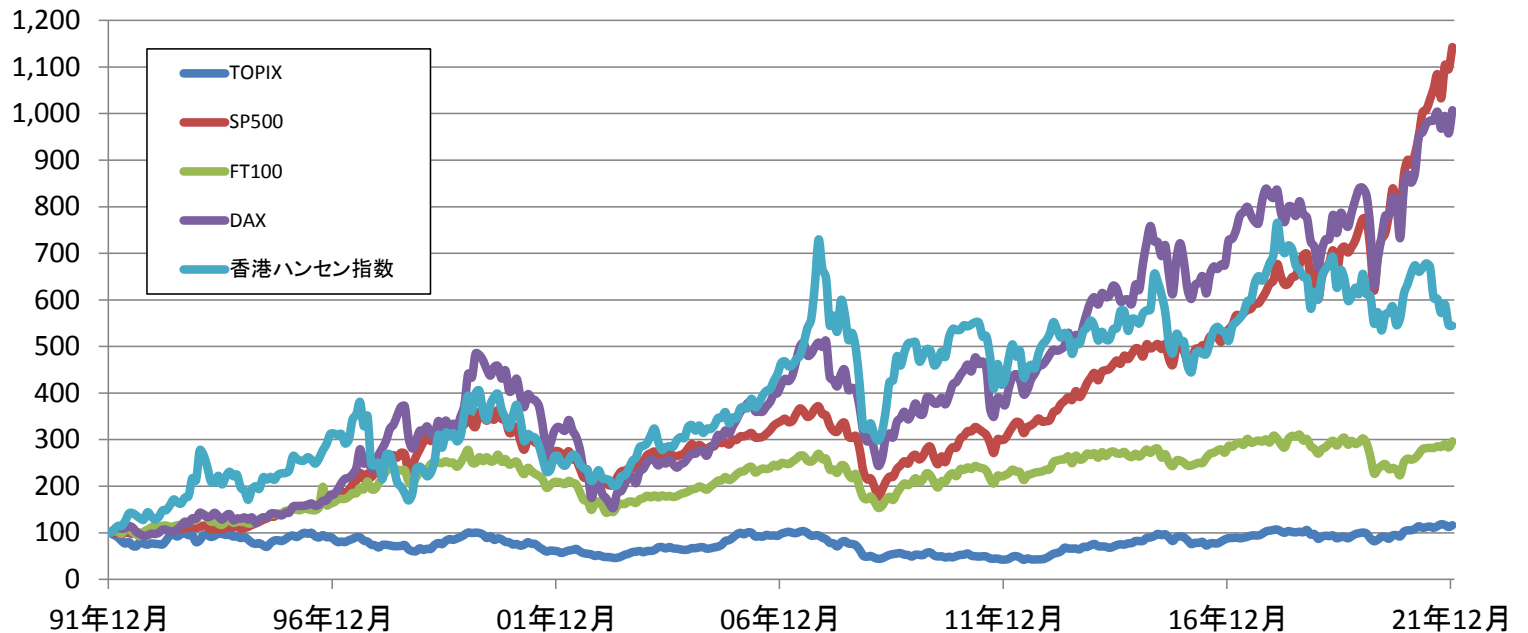
専門的な調査活動や投資先の企業などとの積極的な対話といった責任ある投資活動を通じ、運用資産の価値向上を図り、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

《信認の獲得》

運用哲学をはじめ自らの強みを明らかにし、切磋琢磨しながら、運用力や提供する商品・サービスの更なる向上を図ることで、今まで以上に皆さまにご信認いただき、より多くの資産の運用を託されることを目指します。

世界の株式市場の主要指標の推移（90年代以降）

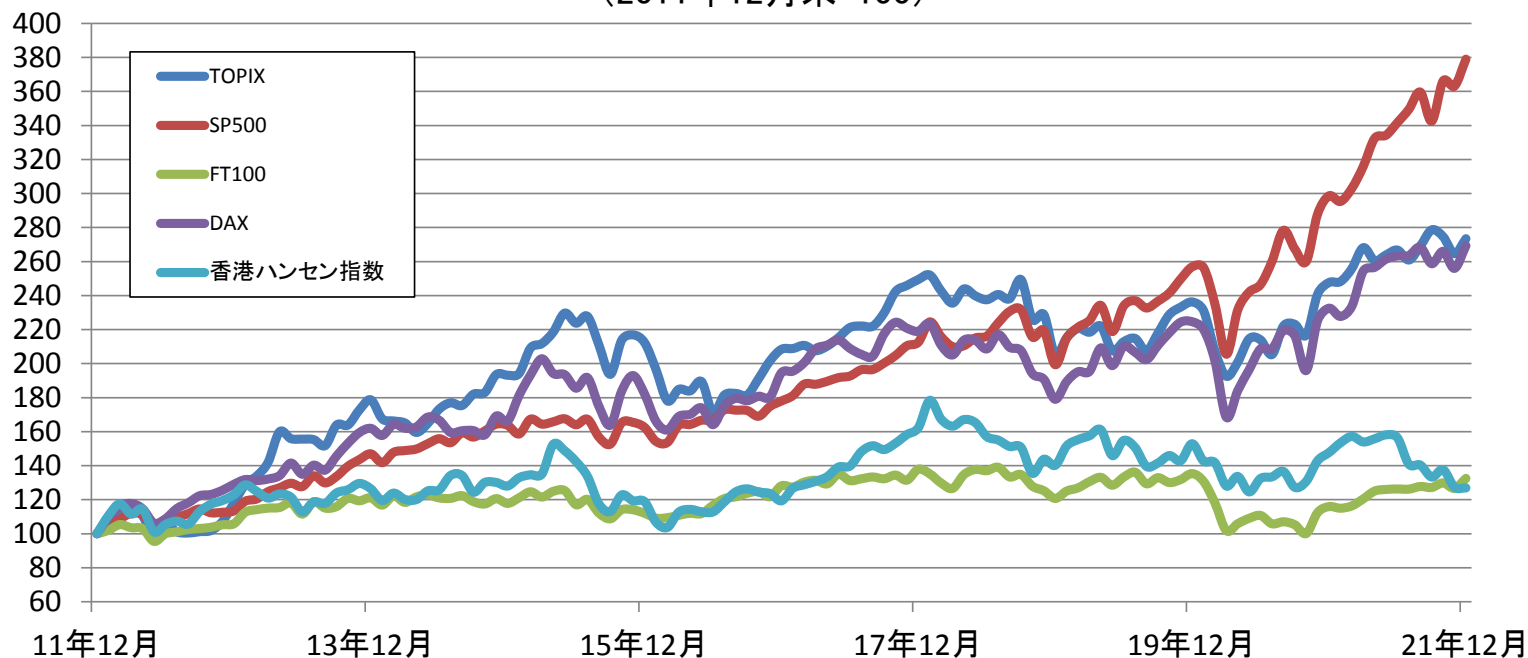
世界の株式市場の動向(2021年12月末まで)
(1991年12月末=100)



	1991年12月末	1996年12月末	2001年12月末	2006年12月末	2011年12月末	2016年12月末	2021年12月末
TOPIX	100	86	60	98	42	89	116
SP500	100	178	275	340	302	537	1,143
FT100	100	165	209	250	224	287	296
DAX	100	183	327	418	374	728	1,007
香港ハンセン指数	100	313	265	465	429	512	544

世界の株式市場の主要指標の推移（10年間）

世界の株式市場の過去10年の動向（2021年12月末まで）
（2011年12月末=100）



	2011年 12月末	2012年 12月末	2013年 12月末	2014年 12月末	2015年 12月末	2016年 12月末	2017年 12月末	2018年 12月末	2019年 12月末	2020年 12月末	2021年 12月末
TOPIX	100	118	179	193	212	208	249	205	236	248	273
SP500	100	113	147	164	163	178	213	199	257	299	379
FT100	100	106	121	118	112	128	138	121	135	116	133
DAX	100	129	162	166	182	195	219	179	225	233	269
香港ハンセン指数	100	123	126	128	119	119	162	140	153	148	127